

# Japan Office Print and Solutions (Japanese Version)

AN IDC CONTINUOUS INTELLIGENCE SERVICE

IDC Japan 年間情報提供サービス「Japan Office Print and Solutions (Japanese Version)」は、オフィスおよび家庭におけるプリント関連市場の国内動向を包括的に分析します。ここでは、家庭用を含むオフィスプリンター／複合機の出荷状況、エンドユーザーの出力量（ページボリューム）の変化、マネージドプリントサービス、そして最新のプリントソリューション／サービスの動向について報告します。IDC では、在宅勤務等を前提とするネクストノーマルの働き方においては、オフィスなどの場所に依存しない働き方、すなわちリモートワークスペースが一般化するとみえています。2022 年は、こうしたリモートワークスペースのためのプリント環境に焦点をあてて調査を行います。このサービスを通じて発行される調査報告書はすべて、同市場におけるエンドユーザーニーズおよびベンダー差別化ポイントを把握するための情報を提供するとともに、マーケティング、販促活動などに貢献することができるよう企画されています。

## Markets and Subjects Analyzed

- オフィス用／ホーム用プリンター／複合機ハードウェア出荷
- リモートワークスペースを支援するプリント環境
- マネージドプリントサービス
- ページボリューム
- デジタルトランスフォーメーション／働き方の未来とプリント

## Core Research

- 国内オフィス／ホームプリント市場 分析と予測
- 国内オフィス／ホームプリント市場 ベンダーシェア
- IDC MarketScape: Japan Print in the Distributed Workforce 2022 Vendor Assessment
- 国内ページボリューム予測

上記リサーチは市場環境などの変化に応じて変更される可能性があります。発行レポートをご覧になりたい場合は以下 Web サイトをご参照ください。: [Japan Office Print and Solutions \(Japanese Version\)](#).

## Key Questions Answered

1. リモートワークスペースにおけるプリント環境は、ネクストノーマルにおけるベンダー差別化要因となるのか?
2. ユーザー企業のリモートワークスペース用プリントソリューションに対する投資意欲は?
3. 国内主要ベンダーのリモートワークスペース用プリント環境への取り組みは?
4. 「働き方の未来」実現のために、プリントベンダーがとるべき施策とは?
5. 国内オフィス／ホームプリント市場の今後の成長率は?
6. 国内オフィス／ホームプリント市場の主要ベンダーのシェア変化は?

## Companies Analyzed

IDC では、次のベンダーの企業戦略、競合状況などの比較／分析を行います（アルファベット順、50 音順）。

エプソン、沖データ、キヤノン、京セラドキュメントソリューションズ、コニカミノルタ、シャープ、東芝テック、日本 HP、富士フイルム、ブラザー、リコー、その他